

◆ 配布資料一覧 ◆

【資料①】 出席者名簿

【資料②】 戦略計画立案ガイド

【資料③】 クラブの健康チェック

【資料④】 会員の満足度を高める(会員満足度アンケート)

【資料⑤】 2022-23 年度 第 2660 地区ビジョン+地区年次目標

【資料⑥】 クラブビジョン策定について

【資料⑦】 会員増強と退会防止について

2022-23年度のための会員増強セミナー 出席者一覧 ①

(敬称略)

ガバナー	吉川 秀隆	大阪	地区代表幹事	早嶋 茂	大阪
パストガバナー	井上 暎夫 ●	千里	次年度地区代表幹事	下條 泰利	大阪南
パストガバナー	横山 守男 ●	大阪中央	次々年度地区代表幹事	前田 要之助	大阪東淀ちややまち
パストガバナー	高島 凱夫 ●	大阪中之島	次年度地区副代表幹事	山本 和良	大阪南
パストガバナー	四宮 孝郎	大阪西南	〃	岩佐 嘉昭	東大阪
直前ガバナー	簡 仁一	茨木	次年度地区幹事	青山 快玄	大阪北梅田
ガバナーエレクト	宮里 唯子	茨木西	〃	岡部 倫正	大阪城南
ガバナーノミニ	延原 健二	大阪大淀	〃	津村 昌明	茨木西
			〃	市村 優次	東大阪
I.M.第1組ガバナー補佐エレクト	神寶 敏夫	大阪梅田	地区研修委員会 委員	樋口 信治 ●	大阪
I.M.第2組ガバナー補佐エレクト	伊藤 智秋	高槻	〃	新堂 博	大阪城北
I.M.第3組ガバナー補佐エレクト	塩谷 眞治	大阪東	〃	藤井 眞澄 ●	大阪南
I.M.第4組ガバナー補佐エレクト	伴井 敬司	大阪難波	地区研修委員会 幹事	清水 久博	大阪南
I.M.第5組ガバナー補佐エレクト	小山 章松 ●	大阪船場	地区ローターアクト委員会 次年度委員長	伊藤 勝彦 ●	大阪南
I.M.第6組ガバナー補佐エレクト	若宮 邦弘	大阪天王寺			
I.M.第1組ガバナー補佐ノミニ	武枝 敏之	豊中	クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長	加茂 次也	東大阪
I.M.第2組ガバナー補佐ノミニ	井伊 圭一郎	吹田西	クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長	金子 勝信	東大阪中央
I.M.第3組ガバナー補佐ノミニ	岩本 昌治	くずは	〃	浜田 篤介	高槻東
I.M.第4組ガバナー補佐ノミニ	横田 孝久	東大阪	〃	石橋 英司	東大阪
I.M.第5組ガバナー補佐ノミニ	上田 勝嗣	大阪西南	クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員	藤間 好太郎	大阪水都
I.M.第6組ガバナー補佐ノミニ	中島 清治	大阪天満橋	〃	能勢 孝一	大阪東
			〃	下宮 義弘 ●	大阪東南
			クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	川口 秀司	大阪東
			〃	福田 忠	大阪難波

2022-23年度のための会員増強セミナー 出席者一覧 ②

(敬称略)

IM	クラブ名	会長エレクト(代理含)	増強担当(代理含)	IM	クラブ名	会長エレクト(代理含)	増強担当(代理含)
1組	池田	田中 孝史	橋本 昌也	4組	東大阪	村岡 修	中原 由輝広
	池田くれは	加藤 光祥	奥山 裕治		東大阪東	藤本 良男	芳田 至弘
	箕面	芝野 弘三郎 ●	山本 貴雄 ●		東大阪西	吉村 篤	柳山 稔
	箕面千里中央	野村 正勝	湯川 泰孝		東大阪中央	尾崎 元 ●	浅野 光男 ●
	大阪水都	今堀 茂 ●	欠席		東大阪みどり	田村 嘉宏	北井 孝彦
	大阪中央	欠席	宮崎 好弘		大阪柏原	壇野 隆一	植田 利弥
	大阪北梅田	濱中 眞希子	吉川 翔 ●		大阪御堂筋本町	仁科 真二	横山 倫子
	大阪北	浜田 晋 ●	清水 雄一郎		大阪難波	林 博之	赤坂 宏
	大阪大淀	森 薫生	島田 大 ●		大阪ネクスト		
	大阪そねざき	米倉 正裕 ●	石井 正人 ●		大阪南	澤村 剛士 ●	青山 総一郎・小林 豊光
	大阪梅田	大矢 善昭 ●	中島 賢一 ●		八尾	吉本 憲司	松井 良介 ●
	大阪梅田東	深尾 元詞	森田 大 ● 島戸 俊明 ●		八尾中央	松尾 汎 ●	藤木 良顕 ●
	豊中	都井 正剛 ●	松山 辰男		八尾東	堀内 伸也 ●	高橋 広一 ●
	豊中千里	樽井 郁夫 ●	地寄 剛史 ●				
	豊中南	長谷川 龍司 ●	山田 敏央 ●				
	2組	茨木	殿村 昌弘 ●		簡 仁一	5組	大阪堂島
茨木東		對馬 康全 ●	阪上 博史	大阪フレンド	岡 賢一 ●		金谷 和浩 ●
茨木西		角谷 真枝	森 拓哉	大阪西北	高士 誠二		弓田 浩司
大阪東淀ちややまち		戸田 和孝 ●	磯田 郁子	大阪リバーサイド	徳山 善雄		高濱 昌次
大阪淀川		西川 正一 ●	欠席	大阪船場	沖 真一郎 ●		岡本 真太郎 ●
千里		村上 正巳 ●	吉崎 和幸 ●	大阪心斎橋	森田 邦治		田坂 敏章 ●
千里メイプル		山田 克子 ●	藤田 芳浩 ●	大阪西南	太田 敏一		樋野 新太郎 ●
摂津		西尾 賢司 ●	和泉 慎也 ●	大阪ユニバーサルシティ	和氣 勝海 ●		竹川 充
新大阪		湯浅 隆之 ●	欠席	大阪アーバン	下出 一		岩崎 雅己
吹田		田中 豊司	崎山 博教 ●	大阪うつぼ	大竹 光明 ●		北野 慎二 ●
吹田江坂		内田 潤 ●	橋本 豊 ●	大阪西	相崎 秀樹		安部 吉宏
吹田西		伊藤 泰充	坂本 一成				
高槻		石田 佳弘 ●	白石 純一 ●	大阪	欠席		廣田 康人 ●
高槻東		浜田 篤介	山西 陽祐	大阪イブニング	松浦 克巳 ●		欠席
高槻西		長谷川 博之 ●	西川 知行 ●	大阪平野	西村 聡		阿部 洋治郎
3組		大東	中野 秀一	佐藤 多加志・田川 和見 ●	6組		大阪城南
	大東中央	白川 初美	大和田 雅江	大阪中之島		栗山 博道	嶽下 勇治
	枚方	仲 光男	河本 能久 ●	大阪大手前		岡田 耕平 ●	真木 俊久 ●
	門真	大倉 基文 ●	西川 亮彦 ●	大阪咲洲		山村 哲也	栗田 隆志
	交野	嶋田 健一	橋 正記	大阪東南		和田 光博 ●	碓 洋司 ●
	香里園	柴田 正夫	岩浅 義彦 ●	大阪天満橋		高橋 俊起	寺杣 晃一 ●
	くずは	橋 喜久夫	鳳山 成志	大阪天王寺		松本 隆司 ●	大田 仁司 ●
	守口	井上 智裕 ●	石谷 隆子 ●	大阪帝塚山		岡田 茂樹 ●	塩中 一成 ●
	守口イブニング	福田 治夫	欠席				
	寝屋川	山根 哲郎	近藤 利則 ●				
	大阪東	小高 得央	藤木 玄三				
	大阪城東	瀬戸口 哲夫					
	大阪城東	柳瀬 寛之	吉井 朋子 ●				
	大阪城北	青木 義明	森垣 佳子 ●				
	大阪鶴見	津野 友邦 ●	山本 隆一 ●				

地区関係出席者数	44名 (内オンライン8名)
クラブ出席者数	156名 (内オンライン76名)
合計	200名 (内オンライン84名)

●はオンラインによる出席者

戦略計画 立案ガイド



ロータリーのビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

本ガイドについて

目的地にたどり着くために地図が必要となるように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには戦略計画が必要となります。ロータリーで実施した調査によると、戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブでは、そうしていないクラブと比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。

長期的な優先事項と、クラブの戦略的ビジョンを支える年次目標を立てるために本ガイドをご利用ください。本ガイドは、ロータリークラブとローターアクトクラブによる使用を想定した資料ですが、地区にとっても役立つ資料となります。

戦略計画立案プロセスの概要

第1段階： 現状分析 クラブの現状は どうか？	第2段階： ビジョンの作成 どのようなクラブになり たいのか？	第3段階： 計画の作成 どのようにビジョンを 実現できるか？	第4段階： 進捗の確認 目標への進み具合は どうか？
<ul style="list-style-type: none"> • 取り組むべき戦略的課題を特定する • クラブの長所と短所を把握する • 会員の満足度とニーズを調べる • 地域社会にある機会と課題を特定する 	<ul style="list-style-type: none"> • クラブが実現したい特徴を5～7つ挙げる • ビジョン声明をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> • 戦略的優先事項を定める • 年次目標を立てる • 活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる 	<ul style="list-style-type: none"> • 年次目標に向けた進捗を確認する • 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する • 行動計画を見直し、調整する

はじめよう

- ・元・現・次期クラブリーダーから成る戦略計画立案チームを編成し、クラブの目標達成を支える計画を立てる。
- ・ロータリアンではない人やローターアクター、またはリーダーの役割を担っていないクラブ会員に、戦略計画立案会議の進行をしてもらう。
- ・さまざまな意見を集めるために、多様な経験や専門知識を有するクラブ会員に参加してもらう。
- ・ロータリーの公式な戦略計画のビジョンを反映させたクラブのビジョンを作成する。
- ・地区およびロータリーの戦略計画に沿ったクラブ目標を立てる。

第1段階:現状分析 — クラブの現状はどうか?

クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

- ・会員からの意見を基にクラブの長所と短所を特定する。
- ・地域社会のリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する。

戦略的課題の特定

クラブで取り組みたい重要な課題や問題は何ですか。戦略的課題とは、戦略計画の立案を促すものであり、具体的な解決策や決定を必要とするものです。戦略計画においてどのような課題に取り組みたいのかを考えましょう。

会員に次のような質問を尋ねてみましょう。

- ・会員を増やし、現会員の積極的な参加を促すために、何ができるでしょうか。
- ・多様な人の関心を引きつけるために、何ができるでしょうか。
- ・地域社会の多くの人にクラブの活動に参加してもらうために、何ができるでしょうか。

ヒント



方向性を定めるために、これまでのクラブの戦略計画を参考とし、「[クラブの健康チェック](#)」を利用して現状を分析するとよいでしょう。

戦略的課題

長所と短所

クラブで何がうまく行っているか（長所）、行っていないか（短所）を挙げてみましょう。

長所

短所

ヒント

より魅力的な体験ができるクラブとするために、会員満足度調査を実施して、クラブの長所と短所を見つけてみましょう。

地域社会にある機会と課題の特定

地域社会にある機会を挙げ、それをクラブの活動にどう取り入れられるかを考えてみましょう。このプロセスを通じて、これまでに地域社会にはなかった職種やグループを見つけたり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングの機会を見つけることができるでしょう。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地域社会の課題も挙げましょう。

機会

課題

第2段階: ビジョンの作成 — どのようなクラブになりたいのか?

クラブの特徴

ロータリーのビジョン声明では、「持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する」ことを求めています。このビジョンを実現するために、3～5年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみましょう。例：楽しい、奉仕志向、革新的、地域社会の人口を反映している、など。

特徴

ビジョン声明

ビジョン声明とは、未来に実現したいことを定義し、クラブの理想像を目指すための方向性を定めるものです。前項で挙げたクラブの特徴を参照しながら、戦略計画立案チームと一緒に一文のビジョン声明を書いてみましょう。

次のような質問について考えてください。

- ・ クラブは3～5年後にどのようになっているか。
- ・ クラブの成功はどのようなかたちで現れるか。
- ・ 何を達成したいか

ビジョン声明

ヒント

ビジョン声明は、クラブ会員の思いを汲んだ内容とする必要があります。例：「私たちのビジョンは、地元の若者をサポートする奉仕クラブとして認識されることです」

第3段階: 計画の作成 — どのようにビジョンを実現できるか?

戦略的優先事項

クラブの戦略的優先事項は、ビジョンの達成を支えるもので、「どのように達成するか」という問いに答えるものです。クラブがビジョンを目指す上で最も大きな成果をもたらせる戦略的優先事項を検討しましょう。

戦略的優先事項を練る際は次のことを考えてください。

- ロータリーのビジョン声明と[戦略計画](#)
- クラブの長所と短所
- 地区の目標
- 地域社会にある機会と課題
- クラブ会員の意見
- 3～5年以内に達成できること

戦略的優先事項

年次目標

戦略的優先事項を設定したら、それを達成するための年次目標を立てます。

戦略的優先事項を書いたら、そのための年次目標、実行項目、必要なリソース・人材、担当する会員、達成期日を記入してください。目標を設定し、目標達成への進捗を確認するには、[ロータリークラブ・セントラル](#) を活用できます。



「誰が」
「何を」「いつ」
「どのように」という
点が明確で、測定可能な
目標を立てます。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

第4段階: 進捗の確認 — 目標への進み具合はどうか?

進捗の確認

戦略計画立案チームと年次目標への進捗を確認し、必要に応じて行動計画に修正を加えましょう。新しい方法を取り入れたり、より多くのリソースを使用したりすることを検討し、進捗を確認する際は次の問いを検討しましょう。

- どのくらいの頻度で、目標達成に向けた進捗を確認しますか。
- どのように進捗状況をクラブ会員に伝えますか。
- 誰が行動計画や年次目標への変更を承認しますか。



目標への進捗を確認するために、[ロータリークラブ・セントラル](#)を活用しましょう。

目標に向けた進捗確認の計画

見直しと調整

進捗を確認する際は、達成されていない目標とその理由を含め、目標の一覧を作りましょう。必要となる調整と、未達成の目標を満たすための実行項目を決定してください。

未達成の目標について検討する際は、次の質問について考えてください。

- 達成された目標は何か。
- 未達成の目標は何か。
- 達成できなかった主な理由は何か。
- 達成するためにどのような調整が必要か。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	達成／未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 2: _____

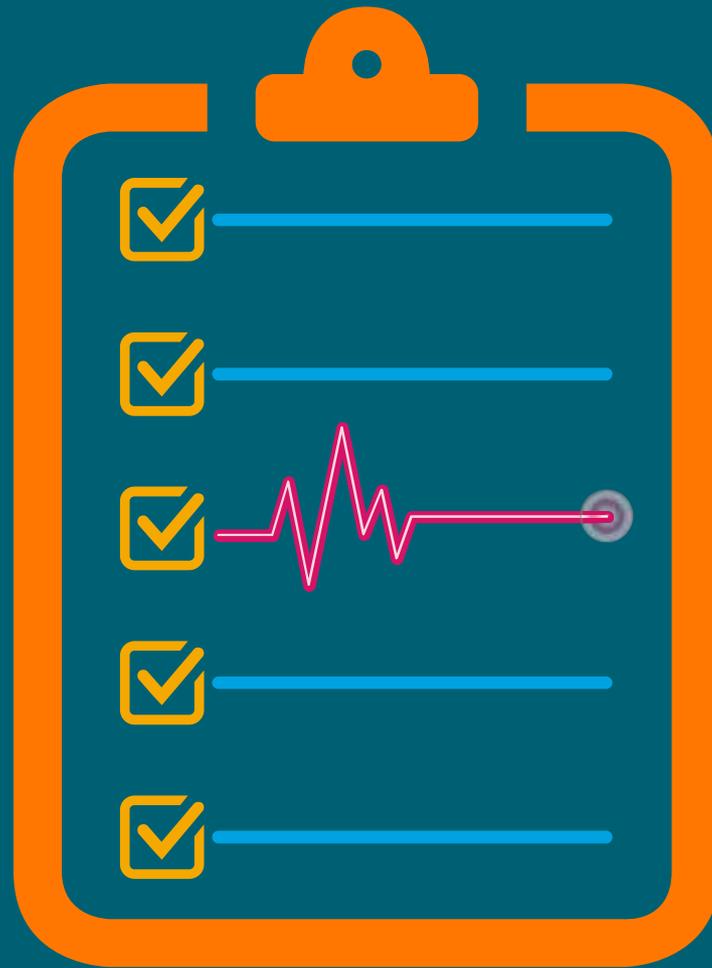
年次目標	達成／未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	達成／未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	達成／未達成	未達成の理由	行動計画への調整



クラブの 健康チェック

健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが大切です。この資料は、クラブリーダーがクラブの現状を把握し、会員と地域社会にとってクラブが価値ある存在であり続けるために何ができるかを考えることを目的としています。まずは過去12カ月間を振り返り、あなたのクラブに当てはまる項目に印をつけてクラブの健康度をチェックした上で、その結果をクラブ役員と話し合いましょう。印がつかない項目が四つ以上あるセクションは、重点的に取り組む必要があるかもしれません。問題のある分野を見つけたら、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう。

クラブでの経験



クラブで充実した時間を過ごしている会員は、退会を考えることはないでしょう。会員が心から楽しみ、意欲的に活動していれば、周囲の人にもそれが伝わり、クラブ全体の活気が高まります。大切なのは、例会や奉仕活動に参加するだけでなく、仲間との交流を楽しみ、ロータリー会員であることに誇りをもてることです。

- 私は例会やその他のクラブ活動を楽しみにしている。
- 例会の内容は、興味深く、意義があり、多様性に富んでいる。
- 例会で会員や来訪者を迎え入れる挨拶係がいる。
- 例会はしっかりと企画、運営されている。
- 会員は毎回の例会で違う人と会話するようにしている。
- クラブで新しい友人を作ることができた。
- 会員の体験を充実させるために、新しいこと（活動、例会の方法や形式、奉仕、親睦など）に挑戦している。
- 卓話ゲストを選ぶ際／来訪者を迎え入れる際／ディスカッションのトピックや奉仕活動を選ぶ際に、インクルーシブ（包摂的）であることを心がけている。
- 役員だけでなく、ほかの会員も地区や国際的なロータリー行事に参加している。
- ほとんどの会員がロータリーの奉仕部門と重点分野について知っており、プロジェクトに参加し、クラブの一員であることを誇りとしている。
- 会員がそれぞれ支援を望む活動や分野に寄付できるようにしている。
- 会員を賞に推薦したり、表彰したりすることで、その奉仕、参加、寄付に感謝の意を示している。
- ロータリーを通じて海外とのネットワークを築いてきた。
- 来訪者に自己紹介をしてもらい、再び招待するようにしている。
- 柔軟な例会の方法（バーチャルまたは対面式での出席、欠席した場合に例会の録画を見る、など）を会員に提供している。

コメント欄

次のページで診断と処方箋をご覧ください



 診断


期待通りの体験ができないと感じている会員は、クラブへの不満が原因で退会してしまうリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
例会	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新しいことを例会に取り入れる。 ➤ 直接対面式で例会ができないときにオンライン例会を開く。または、希望する会員や会場に来られない会員がバーチャル形式で出席することを認める。 ➤ デジタルの分野が得意なクラブ/地区の会員を見つけ、オンライン例会を運営/援助してもらう。 ➤ 国際ロータリー事務局のクラブ・地区支援担当職員に連絡してアイデアを得る。
クラブを超えたロータリーでの体験	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ほかのローターアクトクラブまたはロータリークラブのスポンサーとなる。 ➤ インターアクトクラブを設立するか、インターアクトクラブと一緒に活動する。 ➤ ロータリーの各種プログラムを会員に紹介し、参加を奨励する。RYLAを実施/奨学金を提供/青少年交換に参加する。 ➤ ロータリー友情交換やロータリー行動グループへの参加を呼びかける。 ➤ 全会員が参加できる地区行事への出席を奨励する。参加経験者に体験談や参加のメリットを話してもらう。 ➤ 地元や海外のロータリーとローターアクトの活動（ポリオ根絶を含む）を紹介する。 ➤ 地元のトーストマスターズクラブと協力して、会員がリーダーシップとコミュニケーションのスキルを磨く機会を提供する。 ➤ ほかのクラブを訪問して新しい人と出会い、自分のクラブで実施できる活動のアイデアを得る。
期待に沿わない体験	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 会員満足度調査を活用して、会員が例会に何を望むかを調べ、期待通りの体験ができるように改善する。 ➤ リーダーシップスキルを高めるために、トーストマスターズ・インターナショナルが開発したオンラインコースの利用を会員に勧める。

奉仕と親睦



ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由は、「地域への奉仕」と「仲間との親睦」です。会員がさまざまな方法でクラブに参加できるよう、バラエティーに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく、意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

- 親睦や交流を目的とした集まり（例会以外）を定期的に行っている。
- 家族や友人同伴で例会や行事に出席することを奨励している。
- 会員がリーダーシップを発揮する機会や、職業的に成長できる機会がある。
- ロータリーファミリーのメンバー（インターアクター、ロータリー青少年交換学生、ロータリー平和フェローなど）を例会や行事に招いている。
- ローターアクトまたはインターアクトクラブをスポンサーしている／青少年交換学生または新世代交換に参加している／RYLA行事を実施している。
- 協力団体や支援者、学友と直接連絡を取り合っている。
- 実施するプロジェクトを決める前に、地域社会のニーズについて地元リーダーや市民の声を聞くようにしている。
- 新しいプロジェクトを選ぶ前に、My ROTARYのフォーラムを参照したり、プロジェクトフェアに参加したり、財団専門家グループや協力団体に相談したりしてアイデアを得ている。
- 奉仕プロジェクトが進行中である。
- 奉仕活動や親睦活動について会員が要望や意見を述べる機会を設けている。
- ロータリーの重点分野に沿った奉仕プロジェクトを実施している。
- 奉仕プロジェクトのためにロータリーの補助金を申請／活用した。
- 毎年少なくとも一人の会員がロータリー財団補助金管理セミナーに出席している。
- ロータリー財団に寄付している。
- ロータリー財団委員長と奉仕プロジェクト委員長がいる。

コメント欄



人びととつながりながら奉仕活動ができることは、ロータリーの大きな魅力の一つです。親睦と奉仕活動に参加できる機会が少なければ、退会につながるリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
奉仕の機会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ インターアクトクラブをスポンサー／RYLAを実施／奨学金を提供／青少年交換に参加／ロータリー行動グループに参加／ロータリー平和センターを支援する。 ⊕ ロータリーの新世代交換プログラムを会員に紹介する。
プロジェクトの質	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「地域調査の方法」と「グローバル補助金ガイド」を参照して、プロジェクトの質を高める。 ⊕ 奉仕プロジェクトについて財団専門家グループのメンバーに相談する。 ⊕ クラブが実施した奉仕プロジェクトの評価を行い、今後もそのプロジェクトを続けていくかどうかを判断する。
親睦	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 親睦を目的とした行事を担当する会員を1～2名決める。 ⊕ ロータリー親睦活動グループに参加する。 ⊕ 異なる時間帯や形式のさまざまな行事を見つける、または実施する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員がリーダーシップスキルを磨き、発揮できるようにする。ラーニングセンターのコースカタログにある専門能力開発のコースを会員に紹介する。 ⊕ 新会員や若い会員にリーダー職に任命する。

会員増強



健康的なクラブは、変化しながら成長します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、よくある退会理由の一つとして「リーダーが新しいアイデアに耳を傾けてくれない」というものがあります。会員の意欲を高めるには、クラブに対して会員がどう感じているのかに注意し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。ロータリークラブ・セントラルで、クラブの会員増強の傾向と最新の統計を見てみましょう。

- 過去1年間に会員が純増した。
- 過去1年間に多様な会員（女性会員、若い世代の会員など）が純増した。
- 民族や人種という点で地域社会の多様性を反映している。
- まだ会員がいない職業分類での入会促進に力を注いでいる。
- 新会員の入会式とオリエンテーションを実施し、情報資料や参加の機会を提供している。
- ロータリー学友（元ローターアクター、元青少年交換学生、元平和フェロー、ほかのプログラムの元参加者）のかかわりを積極的に促している。
- 各会員の貢献への感謝やねぎらいを示している。
- 毎年、少なくとも90%の会員を維持している。
- 会員の少なくとも75%が、奉仕プロジェクトに直接参加したり、リーダー的役割、そのほかのクラブの役割にかかわっている。
- クラブに紹介された入会候補者情報を確認し、候補者に連絡する担当者を決めている。
- 新会員と既存会員の両方に対し、会員であることの恩典を説明している。
- 先輩会員が新会員とペアになって助言や指導を行う仕組み（メンタリング）を取り入れている。
- 職業や関心事について会員が例会で卓話をする機会を設けている。
- クラブ会員増強委員会があり、入会と会員の参加促進に取り組んでいる。
- 会員をもった地区行事やロータリー関連セミナーに会員が出席している。

コメント欄



多様性を欠くクラブは、時代に沿わない退屈な場所となり、会員や地域社会にとって価値が少ない存在となる危険性があります。ロータリーは、会員基盤の成長に役立つさまざまなツールや資料を提供しています。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
会員の多様性	<ul style="list-style-type: none"> + 会員の多様性調査を活用して、多様な会員の入会を促進する。 + 多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) へのロータリーのコミットメントと取り組みについて学ぶ。
職業の多様性	<ul style="list-style-type: none"> + 専門能力開発のための各種コースを推奨することで、会員のスキルアップを図る。
会員数の停滞や減少	<ul style="list-style-type: none"> + 会員増強計画を立てる。 + 入会候補者を見つけ、候補者情報を管理する方法を学ぶ。 + 入会候補者情報ワークシートを使って入会候補者の情報を集める。 + 新会員を推薦する方法を会員に説明する。また、ほかのクラブに入会者を紹介できることを説明する。 + 例会以外にもロータリーに参加できる数多くの方法があることを伝える。
会員の退会	<ul style="list-style-type: none"> + 会員満足度調査を実施して、クラブに対する会員の満足度を測る。 + 会員維持調査を実施して、退会の傾向や関心維持の方法を探る。 + 退会者アンケートを活用して退会理由を理解し、改善に取り組む。 + 退会する会員に対し、再入会や移籍の選択肢があること、また退会後も連絡を取り続けることができることを伝える。 + 二重会員となることを検討するようローターアクターに奨励する。
オリエンテーションとロータリーの知識	<ul style="list-style-type: none"> + 新会員のためのオリエンテーションと専門能力開発の機会を提供し、ロータリーのラーニングセンターの活用を勧める。

公共イメージ



楽しみながら地域に貢献しているクラブは、会員が活発になるだけでなく、入会候補者の目にも魅力的に映ります。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施する際にはクラブへの認知度アップを意識し、クラブが地域に根ざしてニーズに取り組んでいることをアピールしましょう。

- 魅力的なデザインのウェブサイトをつくり、クラブの活動や入会のメリットなど公共向けの情報を発信している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントがあり、クラブの活動とそのインパクトを紹介している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントは、幅広い人にリーチしている。
- 昨年、地元メディアで数回にわたりクラブが取り上げられた。
- 地元メディアを通じてクラブやロータリーを紹介している（テレビ、ラジオ、広告など）。
- 奉仕活動にメディア関係者を招き、報道してもらっている。
- クラブで使用している資料は、ロータリーのブランドガイドラインに沿っている。
- 行動人としての会員の姿を示すために、ロータリーのブランドリソースセンターにある素材やテンプレートを活用している。
- 国際ロータリーから提供される広報用素材（公共奉仕広告、動画、写真、ロゴなど）を活用している。
- 例会場、奉仕プロジェクト、イベント会場にロータリー／ローターアクトの標識やクラブのバナーを掲げている。
- 地域社会でクラブの存在が知られている。
- クラブが地域社会にもたらしているインパクトを紹介したパンフレットを作り、地元の人びとや入会候補者に渡している。
- マーケティングや広報の専門知識をもった会員がいる。
- 例会や活動に参加したゲストや市民に好ましい体験をもらうことで、ロータリーの公共イメージを向上させている。
- クラブ公共イメージ委員会があり、イメージ向上と広報に取り組んでいる。

コメント欄



地元での認知度が高ければ高いほど、奉仕活動の効果が高まり、活動に対する人びとの反応も好ましいものとなります。ロータリーのさまざまなリソースをクラブの公共イメージ向上に役立てましょう。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
地域での認知度	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのプレスセンターにあるリソースを地元メディアに紹介する。 ⊕ 認知度アップにつながるようなイベントを企画する（ロータリーのブランドリソースセンターにある「イベント計画ガイド」を参照）。
古くなった資料	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのブランドリソースセンターから利用可能なテンプレートを使い、クラブのパンフレットをつくる。 ⊕ 「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドに沿って資料を作成する。 ⊕ 資料やコミュニケーションを作成する際に、ロータリーの動画や独自の写真を活用する。
オンライン上の存在感	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインツールに強い会員を見つけ、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理してもらう。 ⊕ ラーニングセンターで「ロータリーブランド」のコースを利用する。 ⊕ ロータリーの動画や独自の写真・動画を活用する。 ⊕ ロータリーのソーシャルメディアキットを活用して、オンラインでのクラブの存在感を強める。
マーケティング・広報	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「クラブ公共イメージ委員会の基本」からアイデアを得る。広報の経験がある会員を広報委員会に任命する。 ⊕ 入会候補者情報ワークシートを活用して、広報やマーケティング分野の新会員を募る。 ⊕ ブランドリソースセンターにあるソーシャルメディアキットを利用して、クラブのソーシャルメディアを効果的に活用する。

運営



クラブの未来についてリーダーが真剣に考えているクラブは、円滑に運営され、成長していくものです。元気なクラブづくりにおいては、リーダーの育成、戦略計画の立案、引継ぎ計画が極めて重要となります。

- 戦略計画があり、定期的に更新している。
- 年次目標を定め、これをロータリークラブ・セントラルに入力している。
- ロータリー賞の受賞に向けて努力し、頻繁にロータリー賞を受賞している。
- クラブ理事会が少なくとも四半期に一度会合し、クラブ戦略計画の見直しや、目標に向けた進捗の確認、(必要に応じて) 細則その他の資料の調整を行っている。
- 理事会は、改善すべき点には随時変更を取り入れ、これに基づいてクラブ細則を更新している。
- 将来のリーダーを見つけ、育成するプロセスを確立している。これには、各役職に就くための研修、文書や記録の引き継ぎ、現・元・次期役員による合同決定などが含まれる。
- 会長がPETSに出席し、そのほかの役員やリーダーも地区研修・協議会に出席している。
- クラブのリーダーはMy ROTARYを活用してロータリーの手続きを行っている。
- 12月31日までに次期役員を選び、2月1日までに国際ロータリーに報告している。
- 幹事は、新会員の入会后30日以内にこれを報告している。
- 次年度予算の作成と承認を行い、会計を任命し、運営と寄付(または奉仕プロジェクトの資金)のための口座をそれぞれ別個に設けている。
- 募金目標を定め、さまざまな募金活動を通じてこの目標を達成している。
- 毎年、会員満足度調査への記入を会員にお願いし、その結果をクラブに反映させている。
- 会員の半数以上がMy ROTARYにアカウント登録している。
- クラブ管理運営委員会がある。

コメント欄



✓ 診断

リーダーのスキルや熱意が足りない、または会員のニーズが考慮されないクラブでは、会員の意欲や活動の効果が薄れ、時代遅れとなり、会員の減少を招くこととなります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
戦略計画と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「戦略計画ガイド」を活用して、クラブのビジョンを描き、長期目標と年次目標を立てる。 ➤ ロータリークラブ・セントラルで設定した目標の半分以上を達成してロータリー賞の受賞を目指す。 ➤ ローターアクトクラブはロータリー賞の目標と達成のワークシートを活用する。 ➤ クラブ理事会だけでなく、クラブ全体にとって意義のある目標を選ぶ。 ➤ 会員増強ガイドを活用して、会員増強計画を立てる。
革新性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新しい会員種類（家族会員など）を導入した場合は、これを反映させるためにクラブ細則を修正する。 ➤ 「クラブの種類・形式・モデル」の資料を参照し、会員に提供できる体験について検討する。
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新会員の入会とオリエンテーション、紹介された入会候補者への連絡、新会員の推薦、リーダーシップの引継ぎなど、諸々の標準手続きを定める。 ➤ 会員満足度アンケートを活用する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ オンラインのラーニングセンターでクラブリーダー向けの学習プランを利用し、アイデアや情報を得る。 ➤ リーダーシップ研修を実施し、ラーニングセンターの専門能力開発のための各種コース利用を奨励する。
資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「クラブロータリー財団委員会の基本」のオンラインコースを利用し、寄付の選択肢について学ぶ。 ➤ 「クラブ会計の基本」でベストプラクティスを学ぶ。
My ROTARYでのクラブ管理	<ul style="list-style-type: none"> ➤ My ROTARYの「クラブの運営」のセクションから各種レポートを見たり、会員情報の追加・更新・削除を行ったり、入会候補者の情報を管理したりする。（留意点：ローターアクトの場合、My ROTARYの「クラブの運営」ページを利用できるのはクラブ会長のみとなります。）

次のステップ



「クラブの健康チェック」は、元気なクラブづくりの第一歩です。印が最も多くついた分野、最も少なかった分野を確認し、これを基にクラブの健康診断をして、対処方法を検討しましょう。病院では、健康診断で医者がアドバイスをし、問題があれば薬を処方してくれます。このアドバイスを無視したり、処方薬を飲まなかったりすれば、せっかくの健康診断も意味がありません。これと同じように、診断結果を真剣に受け止め、対処方法を考えて、問題のある分野に早めに取り組みましょう。

ポール・ハリスは次のように述べました：「願わくは、私たちの幸せがさらなる奉仕をもたらすように」。地域社会とそのニーズは時代とともに変化し、ロータリークラブが地域に貢献し続けるには、この変化に対応する必要があります。クラブの健康を定期的にチェックし、常に新鮮な気持ちで元気なクラブづくりを心がけましょう。

次のステップ

1. 各セクションのスコアを以下に記録してください。印のついた一項目につき、1ポイントとなります。

カテゴリー	スコア
クラブでの経験	
奉仕と交流	
会員増強	
公共イメージ	
運営	

2. 最もスコアの低かったカテゴリーをご覧ください。「処方箋」に提案されている対処方法を、どのように実行できるでしょうか。次のステップを以下に記入してください。

実行項目	実行スケジュール	責任者

役立つリソース

[クラブ計画アシスタンス](#)

[会員増強のための評価ツール](#)

[会員増強のリソース](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ラーニングセンター](#)



会員の満足度を高める



会員がいてこそ、クラブが成り立ち、さまざまな活動ができるものです。会員の声に常に耳を傾けて変化を取り入れ、全員の協力を得ながら理想のクラブづくりを目指すことが重要です。まずは、会員の意見を集めるために「会員満足度アンケート」を実施しましょう。



結果の分析と話し合いの際には、匿名性を守り、回答者がわからないよう配慮しましょう。

会員満足度調査の目的

- クラブについて会員が満足している点、不満に感じている点は何かを知る。
- 会員が満足している点をさらに強化し、不満な点を改善するための行動計画を立てる。

準備

満足度アンケートの実施には、数名の協力者が必要です。クラブ会員増強委員、または有志の会員でもかまいません（ただし意見に偏りが出ないように注意が必要です）。設問を用意した後、例会中にアンケートを実施するか、用紙やEメールでアンケートを配布して後で各自に記入してもらいましょう。満足度調査の実施のみを目的とした特別例会を開くのも一案です。その場合は、リラックスした雰囲気の中で率直な意見を集められるようにすることが重要です。



各ステップに1週間以上かかる場合もあります。あらかじめ十分な時間を見積もっておきましょう。



インターネットを使ってアンケートを行うこともできます。無料（またはごく少額）で便利な機能を利用でき、回答データも簡単に管理できます。

はじめよう

ステップ1: アンケートについて説明

全員の意見を集めることがなぜ大切なのかを説明します。

ステップ2: アンケートを配布

Eメールまたは用紙でアンケートを配布するか、インターネットのアンケートのアドレスを案内します。回答は匿名で集計され、より良いクラブづくりに役立てられることを伝えてください。

ステップ3: 回答を集計・分析

アンケートの担当グループが、回答を確認します。回答結果を極秘とすること、あらゆる意見を尊重することをあらためて強調します。

ステップ4: 結果を発表

アンケート結果を発表し、会員から質問を受け付けます。

ステップ5: 行動計画の立案

フォーラムを開き、アンケート結果に基づいてクラブ改善のアイデアと問題解決策を話し合います。会員の積極的な参加を促すための行動計画と、実施スケジュールを組みます。

ステップ6: 計画を実行

最後のステップは、行動計画の実施です。できるだけ多くの会員に協力してもらい、「クラブに貢献している」という実感をもってもらいましょう。

そのほかの調査・アンケート

- 「職業分類調査」で地元の職業を反映したクラブに
- 「会員多様性調査」で多様な会員が集まるクラブに
- 「会員候補者情報の収集」で人会候補者さがしを
- 「会員維持調査・分析」で会員維持力アップ
- 「退会者アンケート」で退会の理由を理解



会員満足度アンケート

クラブでの日ごろの経験に関する本アンケートへのご協力をお願いいたします。ご回答は、クラブをより良くするための参考とさせていただきます。正しい答え／間違った答えはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

- 満足している
- ある程度満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない

2. 本クラブの会員、例会、雰囲気について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう 思う	ある程度 そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
例会は時間を費やす価値があると思う	<input type="checkbox"/>				
クラブは、新会員がすぐに打ち解けられるよう配慮している	<input type="checkbox"/>				
会員は互いへの思いやりをもっている	<input type="checkbox"/>				
クラブは、地元地域の職業／人口構成を反映している	<input type="checkbox"/>				

	そう 思う	ある程度 そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
クラブは、各会員の関心、スキル、 スケジュールに応じてできるだけ活動 に参加するよう呼びかけている	<input type="checkbox"/>				
寄付・募金活動の量は適切である	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

3. 例会について、以下の各点を評価してください。

	非常に よい	よい	まあまあ	あまり よくない	よくない	該当 せず
国際ロータリー最新情報の紹介	<input type="checkbox"/>					
長さ	<input type="checkbox"/>					
交流に充てる時間	<input type="checkbox"/>					
職業のネットワークづくり	<input type="checkbox"/>					
主題の多様さ	<input type="checkbox"/>					
場所	<input type="checkbox"/>					
例会曜日と時間	<input type="checkbox"/>					
食事や飲み物	<input type="checkbox"/>					
講演者とプログラム	<input type="checkbox"/>					

ご意見・ご提案：

4. 本クラブの奉仕プロジェクトについて、ご意見をお聞かせください。

	ちょうどよい	多すぎる	少なすぎる
奉仕プロジェクト(全般)の数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国際奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	そう思う	そう思わない	特に意見なし
奉仕プロジェクトはよく運営されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは奉仕プロジェクトを通じて世界または地域社会に貢献している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕プロジェクトへの参加は私にとって意義がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案:

5. 本クラブのコミュニケーションと対応について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
会員に十分な連絡が行われている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員の声に十分耳を傾けている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員からの意見やアイデアを積極的に募っている	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員の意見やアイデアに基づいて運営されている	<input type="checkbox"/>				
本クラブの変化のスピードは適切だと思う	<input type="checkbox"/>				
クラブは会員のニーズに合わせて手続きや規定を更新している	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

6. 会員であることの価値について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
私はクラブで歓迎されていると感じる	<input type="checkbox"/>				
クラブを通じて貴重な人脈づくりができる	<input type="checkbox"/>				
クラブでは私の才能・スキルを生かす機会がある	<input type="checkbox"/>				
会員としての経験は、会費を支払う価値がある	<input type="checkbox"/>				
ロータリー会員としての経験は、時間を費やす価値がある	<input type="checkbox"/>				
私がロータリー会員であることの価値を家族も認めている	<input type="checkbox"/>				
私がロータリー会員であることの価値を友人も認めている	<input type="checkbox"/>				
ロータリーを通じて地域のために貢献できる	<input type="checkbox"/>				
ロータリーを通じて世界のために貢献できる	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案:

7. クラブへの参加について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
私は、クラブの行事に家族、友人、 同僚をよく誘う	<input type="checkbox"/>				
私は、資格ある候補者に入会を 誘っている	<input type="checkbox"/>				
私は、クラブの活動／プログラムに 頻繁に参加している	<input type="checkbox"/>				
私は、当クラブを誇りに思う	<input type="checkbox"/>				

ご意見・ご提案：

8. 会員が払う費用について、以下の各項目に該当するものに印を付けてください。

	低すぎる	ちょうどよい	高すぎる	該当しない
クラブ会費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
例会の食費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ニコニコ／ごめんなさいボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブ賦課金／特別会費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕活動用に求められる募金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリー財団のために求められる寄付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

2022-23年度より有効

私たちロータリアンと*ローターアクターは；

- ◆ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観をもつ人々による貢献を大切に、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ◆ RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

* 2019年規定審議会は国際ロータリーの組織規定を改正し、ローターアクタークラブが国際ロータリーの加盟クラブになりました。

地区中期3ヶ年目標 (2022-23~2024-25)

1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオ根絶のために*アドボカシー活動とファンドレイジングを推進します。
- 地域調査に基づいた、持続可能でインパクトをもたらす奉仕を強化します。

2. 参加者の基盤を広げる

- メディア、ソーシャルメディアや地域社会で、クラブと地区のインパクトを紹介し、公共イメージ向上を推進します。
- あらゆる背景を持つ人、人生のさまざまな段階にある人のためにロータリーへの新しい経路を開き、多様な人々の参加を促し、その貢献を尊重します。

3. 参加者の積極的なかわりを促す

- 全クラブが将来のビジョンや中期計画を策定するよう推奨します。
- さらに多くの会員が惹きつけられる新しいプログラムや行事、学びの機会を創出します。
- クラブが毎年ロータリー賞の受賞を目指すことを推奨します。

4. 適応力を高める

- 変わりゆく世界で国際的な発言力を高め、新しい機会を追求し、ロータリアンやローターアクターが地域で、国際社会で活躍するためのより多くの道をつくっていきます。
- 社会により良く奉仕するために、新しい人たちにオープンになり、テクノロジー、社会の変化に迅速かつ恐れずに適応していきます。

* アドボカシー活動とは一人ひとりがポリオについて理解をし、解決のためにできることを政府や社会に訴えていくことです。



私たちロータリアンとローターアクターは；

1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオデー（10月24日）にポリオ根絶にちなんだ活動をRAC、IAC、ロータリーファミリーと協働し、発信します。
- 財団補助金（地区補助金・グローバル補助金）活動を実施し、発信します。
- ロータリアンは財団寄付目標（年次基金寄付150ドル、ポリオプラス基金寄付50ドル、恒久基金寄付30ドル）を達成します。
- ローターアクトクラブは少なくとも5名の会員により合計\$50の財団寄付を達成します。

2. 参加者の基盤を広げる

- ローターアクター、インターアクター、ロータリーファミリーと協働して奉仕活動を実施します。
- ロータリーのブランドを正しく使います。
- 革新的クラブ、活動分野に基づくクラブ（衛星クラブ）の設立をめざします。

3. 参加者の積極的なかわりを促す

- 大阪のロータリー100周年を祝います。
- クラブのビジョンや中期計画を作ります、あるいは必要に応じて見直します。
- 例会、フォーラム、研修、IMロータリーデー、新会員研修交流会、その他行事をさらに魅力的な学びの機会とし、参加者基盤を広げ増強します。
- クラブや個人のロータリーの賞の受賞を目指します。
- 米山記念奨学会を支援します。

4. 適応力を高める

- テクノロジーを利用して例会を実施し、交流や親睦を深め、奉仕活動を実行します。
- 会員全員が My Rotaryに登録することを目指します。
- ラーニングセンターを活用します。

Rotary HD2660 IMAGINE ROTARY
 国際ロータリー 第2660地区 西中支店 第1分室

2022-23年度における
 地区会員増強セミナー

クラブビジョン策定について

2022年5月28日

2022-23年度
 RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強委員長
加茂次也 (東大阪RC)

本日お話しする内容

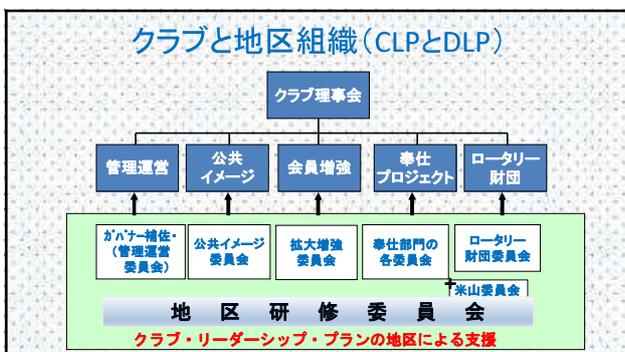
- 国際ロータリーCLP提唱と地区の対応
- 国際ロータリーのビジョン声明と戦略的目標
 ビジョン声明と戦略的優先事項と目的
- 戦略計画に対する地区の対応、地区ビジョン策定
- 地区のクラブビジョン策定の説明
- ビジョン策定委員会の提言

国際ロータリーCLP提唱と 地区の対応

CLP (Club Leadership Plan)

- ・DLPは世界の全地区が採用されなければならないが、CLPの採否はクラブの裁量
- ・目的 クラブを長期的に如何に発展させ活性化を図っていくか。

1. クラブの発展に繋がるような**長期目標**を立案する。
2. **長期目標**を支える年次目標の設定する。
3. クラブ協議会などの会合を通じて会員全員がクラブ活動に参加していることを実感できるようにする。
4. クラブ内及び地区との情報伝達をAGや地区委員を通じて円滑に図る。
5. 年度から年度への継続性を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ。
6. 独自のクラブ運営が反映出来るように、クラブの**長期計画**や細則を適宜修正する。
7. クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのPRや奉仕活動に活発に関与するように計画する。
9. 会員に対する包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する。



CLPに対する地区対応

2004年10月 RI理事会は“Club Leadership Plan (CLP)”を承認。
 各クラブへ奨励(長期計画策定)

2006-07年度 岩田宙造ガバナー
 CLPの採用を推奨 地区大会でCLP導入を推進することが決議

2007-08年度 新谷秀一ガバナー 8目標中
 5.DLPの推進 6.CLPの推進

2008-09年度 横山守雄ガバナー
 「自分たちのクラブを、特色ある、そして活力のある組織体に変えていくのだ、
 という強い意欲を持って頂くことが先決ではないか ⇒以降CLPの記載なし

国際ロータリーの ビジョン声明 と戦略的目標 戦略的優先事項と目的

RI Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change – across the globe, in our communities, and in ourselves.

2017年6月RI理事会で決定。2018年1月国際協議会で発表。

国際ロータリー (RI)のビジョン声明

私たち*ロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

*2019年4月の規定審議会でRACがRI加盟を認められたことに伴い、「ロータリアン」を削除し、英語の「We」とそろえて、「私たちは」と和約を変更することとなりました。

【 2019.8.30 「ビジョン声明の和約変更についてのご案内」2019-2020RI理事 三木 明 】

ロータリーの戦略的目標

(期間:2015~16年度から4年間)

『価値観を行動に』

- クラブのサポートと強化
- 人道的奉仕の重点化と増加
- 公共イメージと認知度の向上



ロータリーの戦略的優先事項と目的

(期間:2019~20年度から5年間)

『ロータリーの戦略的優先事項』

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める



戦略計画に対する 地区の対応 I

地区ビジョン策定

2015-16年度 立野純三ガバナー7方針中
 ④戦略計画委員会
 各クラブに「戦略計画委員会」を作っていたきたいと思います。
 2016-17年度 松本信也ガバナー5目標中
 ④ロータリー戦略計画の推進
 81クラブ中13クラブが未発足、更なる設置を推進「クラブが将来の目標に向け、継続的に活動を続ける」ことを望む
 2017-18年度 片山 勉ガバナー5目標中
 ②戦略計画(将来構想)の推進
 「魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ」であり続けるため、クラブはどうあるべきか → 課題の把握・分析し中期計画(3~5年)の立案と実践方法の検討 → 実現

地区のビジョン声明

(期間:2017~18年度から5年間)

私たち第2660地区はRIテーマを理解し、地域の特性にあった活動をするにより具現化します。

ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出します。

それぞれが
「魅力ある・元気ある・個性ある」
 クラブになる事を目指します。



地区中期5ヶ年目標

1. **クラブのサポートと強化**
 - ▶ 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨
 - ▶ クラブ会員基盤を強化
 - ▶ **会員規模地区で純増82名×5ヶ年で4,000名を目指す**
2. **人道的奉仕の強化と増加**
 - ▶ ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕強化
 - ▶ **財団補助の利用実績50件を目指す**
 - ▶ **R財団、米山奨学への寄付推進、寄付クラブ等クラブ等を目指す**
3. **公共イメージと認知度の向上**
 - ▶ 奉仕活動により感動・誇りを得、その魅力を周囲の人に伝える
 - ▶ 地域社会に開かれたロータリー活動を実施、公共イメージ向上の推進
 - ▶ **IT化の推進、My Rotary登録率65%、クラブセントラル利用率75%を目指す**

戦略計画に対する 地区の対応 II

地区ビジョン策定

・2018-19年度 山本博史ガバナー10方針中
 ⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期 **ビジョン**を策定してください
 戦略計画委員会を立上げ、クラブの将来のあるべき姿を各クラブの皆様で共有し、その実現に必要な改革、改正を行って頂きたいと思います。
 ・2019-20年度 四宮孝郎ガバナー6目標中
 ①**クラブビジョン**の策定
 地区及びクラブの地域特性、歴史、規模に合った独自のビジョン策定が必要。
 クラブ内の分析→クラブ内で話し合い会員相互で問題意識を共有
 →「変えてはならないロータリー」「変えなくてはならないロータリー」を明確に
 ・2020-21年度 簡 仁一ガバナー6目標
 ①**会員基盤の強化**
 多様な会員を受け入れる柔軟性と、ロータリーの基本的な価値観を再認識し、クラブのあり方を方向づける「**クラブビジョン**」を作成しましょう。
 ・2021-22年度 吉川秀隆ガバナー8目標中
 ⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期 **ビジョン**を策定してください。

2022-23年度 宮里唯子ガバナー4目標中

③参加者の積極的なかわりを促す
5項目中

2.クラブのビジョンや中期計画をつくり、あるいは必要に応じて見直します。

5.クラブや個人のロータリー賞の受賞を目指します。

地区のビジョン声明

(期間: 2022~23年度より)

私たちロータリアンと*ローターアクターは

- ◆ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観をもつ人々による貢献を大切に、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。

*2019年規定審議会は国際ロータリーの組織規程を改正し、ローターアクターが国際ロータリーの加盟クラブになりました。



地区のビジョン声明

- ◆ RIテーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

地区中期3ヶ年目標 (2022-23~2024-25)

- 1. より大きなインパクトをもたらす**
 - ▷ ポリオ根絶のために*アドボカシー活動とファンレイジングを推進します。
 - ▷ 地域調査に基づいた、持続可能でインパクトをもたらす奉仕を強化します。
- 2. 参加者の基盤を広げる**
 - ▷ メディア、ソーシャルメディアや地域社会で、クラブと地区のインパクトを紹介し、公共イメージ向上を推進します。
 - ▷ あらゆる背景を持つ人、人生のさまざまな段階にある人のためにロータリーへの新しい経路を開き、多様な人々の参加を促し、その貢献を尊重します。

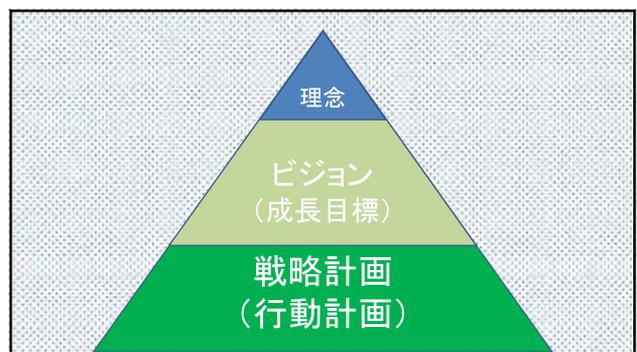
- 3. 参加者の積極的なかわりを促す**
 - ▷ 全クラブが将来のビジョンや中期計画を策定するよう推奨します。
 - ▷ さらに多くの会員が惹きつけられる新しいプログラムや行事、学びの機会を創出します。
 - ▷ クラブが毎年ロータリー賞の受賞を目指すことを推奨します。
- 4. 適応力を高める**
 - ▷ 変わりゆく世界で国際的な発言力を高め、新しい機会を追求し、ロータリアンやローターアクターが地域で、国際社会で活躍するためのより多くの道をつくっていきます。
 - ▷ 社会により良く奉仕するために、新しい人たちにオープンになり、テクノロジー、社会の変化に迅速かつ恐れずに適応していきます。

*アドボカシー活動とは一人ひとりがポリオについて理解し、解決のためにできることを政府や社会に訴えていくことです。

地区のクラブビジョン策定説明

【公共イメージ向上並びに
クラブビジョン策定セミナー】

地区規定審議・ビジョン策定委員会
副委員長 片山 勉PDG
(2020年10月10日)



クラブビジョンがなぜ必要なのか

クラブビジョン＝成長目標・発展目標

どんなクラブであるべきか }
 どのなクラブにしたいのか }

→ クラブの中枢を示すもの

「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブとして
 成長、発展、継続させることができる。

クラブ戦略計画策定の要点

- ◆ 会員満足度アンケートや会員集会での課題を通して、自己点検から始める
- ◆ 委員会構成は、会長・次年度会長・次々年度会長を含める
- ◆ 中期計画に含むべき課題
 - 会員基盤の強化（維持、増強、拡大、多様性）
 - 財務の健全性と持続性
 - 親睦と奉仕活動の在り方
 - 数値目標を掲げる

会長方針について

- ◆ クラブ会長方針は当該年度の活動方針＝クラブの要
- ◆ クラブビジョン及び戦略計画（中期計画/行動計画）との整合性を確認する
- ◆ RIの戦略的優先事項と目的及び地区中期計画5ヶ年について考察する

日本のロータリー100周年 ビジョンレポート2020

全クラブへのWEBアンケートに表れた日本のロータリアンの現状認識や意識に基づく提言

ビジョン策定委員会

日本のロータリー100周年 ビジョンレポート2020

クラブビジョンのモデル

〇〇ロータリークラブ ビジョン宣言

私たちロータリーの「奉仕の理念」に基づき、世界的ネットワークである国際ロータリーの活動を促進し、**世界平和の実現**を目指すとともに、ロータリアンとしての学習と研鑽を積み、**職業人・リーダーとしての成長**を図りながら、地域社会になくしてはならない、**豊かで健全な地域づくりに貢献**できる活力あふれるクラブを築いてゆく。

ビジョン策定委員会

奉仕の第2世紀のための22の提言

日本のロータリークラブを元気にするには何が必要か？

- ① 10年以上先の地域社会との関りを視野に入れたクラブのビジョン（将来像）と、今後3～5年の行動計画を、会員の合意を形成しながら策定しよう。行動計画は毎年見直そう。
- ② クラブの元気と魅力再生を目指して、クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の進展状況を再点検しよう。また、継続的・定期的に会員の意識調査を実施しよう。

- ③クラブ永続のための最重要課題である会員増強は、元気なクラブづくり(CIP)を土台に、クラブの実情に合わせて、クラブ全員で年度を超えて継続的に取り組もう。
 - ④コロナ禍のような事態に直面してもオンライン例会開催などで、会員とのつながりを保とう。また、ネットを通じた社会との新しいつながりを開発しよう。
- クラブは会員にどんな価値を提供できるか?**
- ⑤新会員から現会員まで、クラブにおけるロータリー研修を充実し、会員のロータリアンとしての成長を図ろう。
 - ⑥会員の職業人・組織のリーダーとしての成長を支援しよう。

- ⑦会員がロータリーに積極的に参加し、ニーズに応じてそれぞれのロータリーライフを享受できる多様な機会を提供しよう。
- ・ロータリークラブの地域社会における存在価値はどうすれば高まるか?**
- ⑧クラブの独自性を磨こう。(何をもって地域に貢献できるか?)
 - ⑨所在地の自治体、地域団体等との連携(包括的連携協定の締結と活動等)を積極的に推進し、共助社会の担い手としての役割を果たそう。
 - ⑩ロータリーの公共イメージの向上は、クラブの地域社会や世界に対する貢献やロータリアン自身の言動によって実現できることを認識しよう。

私の知る限りでは、ロータリーには「できない」と「できる」
との葛藤で、「できない」が永遠に勝利を取めたことは一度も
ありません。広大なビジョン、崇高な目的は必ず勝利を取めま
す。

(ポール ハリス)

後一か月で次年度を迎えます。自クラブの活性化のため、共に
力を合わせて
クラブビジョンの策定と見直し、中長期計画の策定と見直しに
取り組んでいきましょう

ご清聴 ありがとうございました。

Rotary
RID2660
人脈のロータリー 700 周年を祝おう!

IMAGINE
ROTARY

2022-23年度における
地区会員増強セミナー

会員増強と 退会防止について

2022年5月28日

2022-23年度
RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強副委員長
石橋 英司 (東大阪RC)

本日お話する内容

- 地区会員数の現況
- コロナ禍でも会員増強活動に成功されたクラブの事例発表
- 従来からの会員増強の「要点」
- 会員増強の観点から衛星クラブ創設
- 退会防止の観点から会員種類の多様化

地区会員数の現況

定款による会員規定

地区会員数の推移

退会者の特徴

クラブの目的(標準クラブ定款)

《標準ロータリークラブ定款》

第3条 クラブの目的
本クラブの目的は次の通りである。

- (a)「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b)五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d)ロータリー財団を支援すること
- (e)クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

会員身分の資格条件および会員基盤 (ロータリー標準クラブ定款)

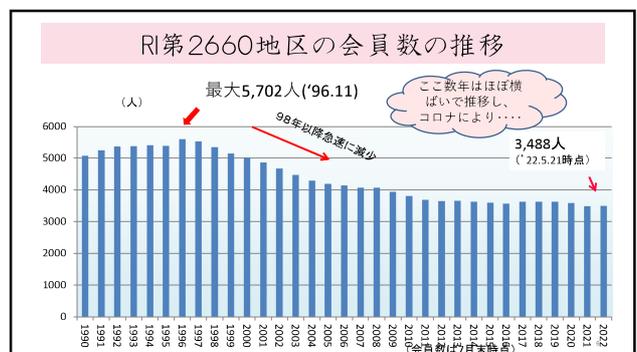
《標準ロータリークラブ定款》

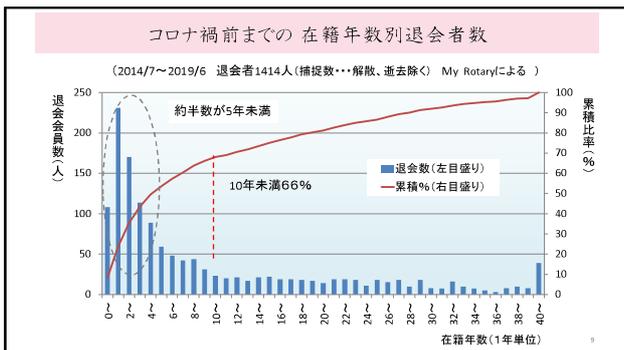
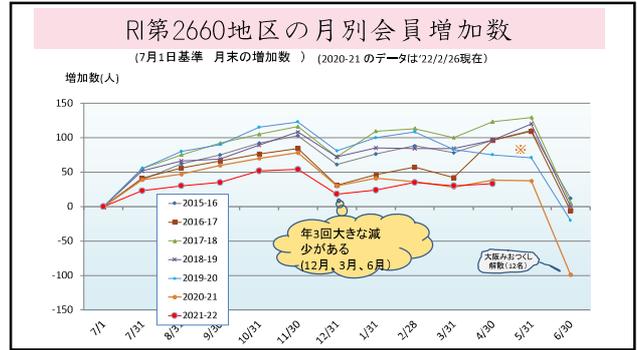
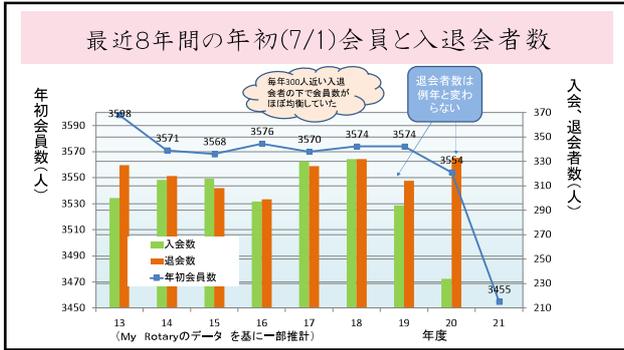
第8条 会員身分

第1節-全般的資格条件。本クラブは、**善良さ、高潔さ、リーダーシップ**を身をもって示し、**事業、専門職務、および/または地域社会でよい評判**を受けており、**地域社会および/または世界において奉仕する意欲のある成人**によって構成されるものとする。

第9条 クラブの会員構成

第2節-多様なクラブ会員基盤。本クラブの会員基盤は、**年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。**





コロナ以前の退会者の特徴

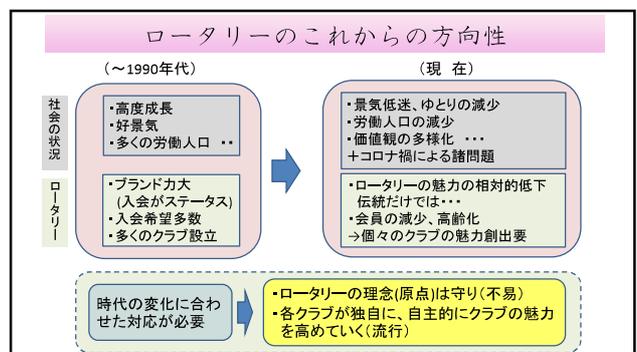
12月、6月の退会者が全体の2/3を占め、新会員～中堅会員、ベテラン会員まで幅広い退会がある。

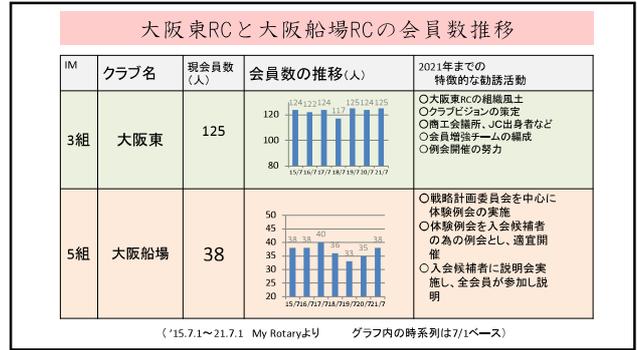
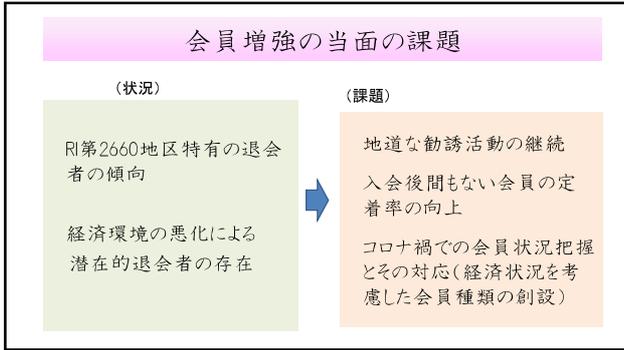
退会理由も、5年未満の新会員では「仕事の都合」が約半数を占めるが、5年以上の会員(中堅、ベテラン会員)では、「健康ないし一身上の都合」の割合が大きくなっている。

12月、6月以外では、在籍5年未満の新会員の退会が多く、退会理由も「仕事の都合」の割合が高い。中堅、ベテランの退会は少ない。

コロナ禍でも会員増強に成功した事例発表

ロータリークラブの課題
「2021-22年度におけた地区会員増強セミナー」での事例発表





人財基盤の更なる充実に向けて 大阪東RC会員組織委員長 太田垣 英士様

- 会員増強の状況 新入会員12名(平均年齢58歳)
(21.4現在) 退会会員5名(平均年齢71歳)
- コロナ禍で会員増強に善戦できた背景
 - 大阪東RCの組織風土
 コロナ禍といえど特別な事はしていない
 ▷親睦を通じた、信頼感の醸成と価値観の共有
 ▷人財基盤充実という課題に対する共感
 - 大阪東RCの特徴的取り組み
 ▷会員増強チームの編成 4チーム(1チーム3名)
 会員候補発掘+クラブ内での会員増強PR

- ▷例会開催の努力
 行政の要請を踏まえ、十分な感染対策を行ったうえで例会(WEB併用)を開催+週報発行
- 3.会員選考の重要性
 ▷公正かつ厳正な選考機能を追求
 被推薦者の業界内プレゼンス等に関する調査(聞き合わせ+適宜面談)
- 4.人財基盤の更なる充実に向けて
 - 活動領域の認識
 転勤による退会者の後任フォロー
 過去退会者へのアプローチ等
 会員同士チャンネルを活用したアプローチ等

- 人財の多様性を意識 会員構成のバランス
 - ・業種のバランス
 - ・一般企業/オーナー企業/専門職のバランス
 - ・ジェンダーのバランス
 - ・年齢構成、会員歴バランス等々

↓

「奉仕の理念」を共有する多様な人財が集い、互いに影響し合うことを通じて「人が育つ」クラブへ!

大阪船場RC増強活動について 増強委員長 中村 一 様

- 入会候補者を一斉に集めた体験例会の開催
 ・今までは入会候補者一人で体験例会に参加
 20.9・10月にそれぞれ1回開催
 ⇒40歳代4名、50歳代1名入会
 孤独感・緊張感・不安を和らげる
- 説明会の開催
 費用・ドレスコード・入会後の役割等を説明。

↓

○同時入会による仲間意識 ○入会前から“友人”
 ○ロータリーの理解による退会防止

コロナ禍まで会員増強に成功したクラブ①				
IM	クラブ名	現会員数(人)	会員数の推移(人)	2020年までの特徴的な勧誘活動
3組	くずは	82(2)		<ul style="list-style-type: none"> ○講習の目標設定 ○全会員による候補者への声掛け ○商工会議所、JC出身者などのルート活用 ○数名のスーパー紹介者
5組	大阪西	107(4)		<ul style="list-style-type: none"> ○中期目標の設定 ○MSU(メンバースカウティング・ユニット)の活用 ・4人/チーム×8チーム ・月1回のリーダー会議
4組	大阪南	175(9)		<ul style="list-style-type: none"> ○会員の増強意識 ○JC出身者などのルート活用 ○衛星クラブ設立(18/7)

(*15.7.1~21.7.1 My Rotaryより グラフ内の時系列は7/1ペース)

コロナ禍まで会員増強に成功したクラブ②				
IM	クラブ名	現会員数(人)	会員数の推移(人)	2020年までの特徴的な勧誘活動
6組	大阪平野	53(3)		<ul style="list-style-type: none"> ○会員の増強意識 ○例会見学の見学時の積極対応 ○候補者を懇親会、ゴルフコンペなどに招待
4組	八尾	62(6)		<ul style="list-style-type: none"> ○会長の強いリーダーシップ ○駅や道路沿いにポスターを貼り宣伝 ○地域に根差した奉仕活動
5組	大阪堂島	40(6)		<ul style="list-style-type: none"> ○若手によるクラブ運営改革 ○青少年奉仕、国際奉仕を重点

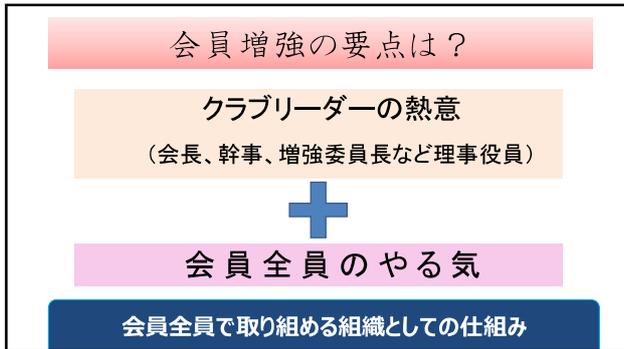
(*15.7.1~21.7.1 My Rotaryより グラフ内の時系列は7/1ペース)

従来からの会員増強の「要点」

ポスターやパンフレット

会員増強の「要点」





会員増強のポイント

○候補者のデータベース

- 候補者のリストアップ、更新・漏卸、確実な引継ぎ
- 全員参加(役員、担当委員だけに任せるのではなく)
(少数グループによる推薦活動も効果的)
- 理事会メンバーによる率先した候補者推薦

○PRと候補者への勧誘

- パンフレットなどツールの作成と活用
- 継続的に何度でも、ある程度は強引に！
- 例会、親睦活動などへの招待

○入会後のケア(新入会員に対するケアを含め)

- クラブに慣れるまでのきめ細かいケア

○退会防止

- 退会意向の早期把握と慰留
- 退会理由の分析とフィードバック
- 声掛け、コミュニケーション
- 転勤、退職の後性の推薦
- 会員種類の多様化による対応

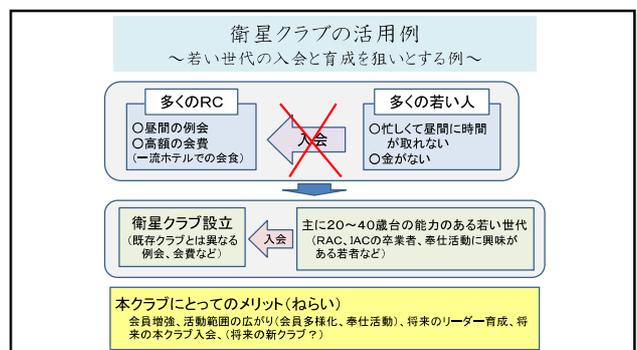
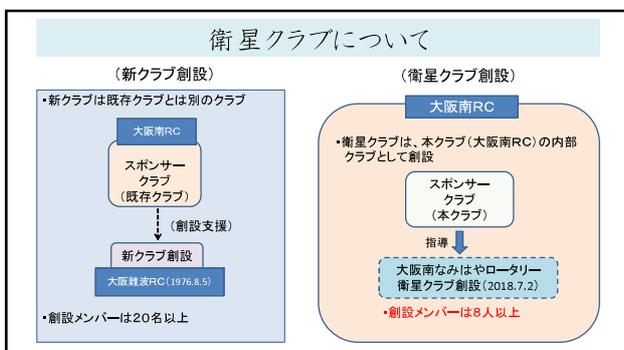
トップのリーダーシップは極めて重要

- ・しっかりと目標と計画をたてる
- ・例会等でたえず語りかけ会員をその気にさせる
- ・色々な増強の話し合いの機会を設ける
- ・常に増強活動状況をフォローし、状況を把握する
- ...

会員増強の観点から 衛星クラブ創設

衛星クラブについて

RI第2660地区での衛星クラブ創設	
2018.7/2	大阪南なみはやロータリー衛星クラブ 2022.5.20現在 9人(内女性0人)
2019.5/30	大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブ 2022.5.20現在 10人(内女性5人)
2020.5/28	東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ 2022.5.20現在 13人(内女性2人)



退会防止の観点から 会員種類の多様化

会員種類の多様化による退会防止

2016年RI規定審議会制定「標準ロータリークラブ定款」により、細則で例外規定を設ける事が可能になった。
⇒クラブの多様性

(定款第7条に例外規定の細則記載は纏められる)

2019年RI規定審議会制定「標準ロータリークラブ定款」もこれを引き継ぐ。

(第7条《会合》第8条《会員身分》第10条《出席》

第13条第4節《会員身分の存続-終結-欠席》)

2022年RI規定審議会制定「標準ロータリークラブ定款」の改定内容に注意。

会員種類に関するルール変更

クラブ細則を変更することにより次の例外が認められることとなった。

○例会と出席に関する規定の例外

(クラブ定款第7条第1節及び第10条第7節)

- ・例会の回数、内容などの変更
- ・出席に関する規定の変更

多様な例会が可能に

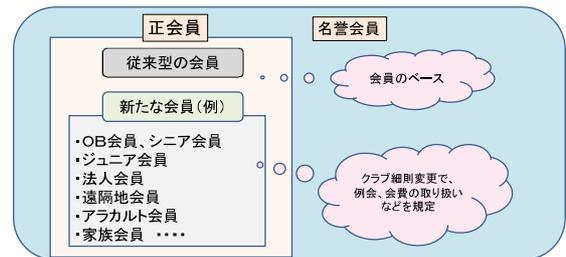
○会員身分に関する規定の例外

(クラブ定款第8条第7節)

- ・会員種類の多様化

これらを組み合わせていろいろな会員種類が可能に

いろいろな会員種類



(詳細は2660地区ホームページ/資料ダウンロードページ内-地区委員会資料-クラブ奉仕-拡大増強委員会を参照)

会員種類の多様化に関する検討事項

会員種類ごとに次の各項目をどうするのか決めて、クラブ細則に盛り込む必要があります。

例会の取り扱い

従来通りの例会、WEBなどで補完など。

例会の出席義務

従来通りの出席義務を課す、緩和する、適用免除する、出席義務を緩和した会員が例会に出席した場合の取り扱い(ビジターフィー相当額の徴収等)など。

入会金、会費

免除か、減額か、減額の程度は、など。

なお、こうして規定された会員は正会員である限り、RIに対して人頭分担当など、地区に対して地区負担金など従来の正会員と同じ費用を支払う必要があります。

世界は絶えず変化しています。
そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません (ポール・ハリス)

落ち着きを取り戻しつつありますが、まだまだ予断を許さないコロナ禍にあって力を合わせて自クラブの会員の退会防止と会員増強に取り組みましょう

ご清聴ありがとうございました。